

- 氏名 : 武内 晋哉 / Shinya TAKEUCHI
- 会員番号 : FE-0424
- 専門分野 : Electrical and Computer
- 保有資格 : 技術士補 (情報工学部門)、TOEIC 880/990 点、  
HSK (中国政府公認 中国語資格) 3 級

FE 試験受験 : 2021/11



私には、脳が正常に働かない一生涯続く重度の精神障害がありますが、

何とか、技術士一次試験を 2 年受けて 2 回目ですかりました。

その後、修習技術者となり、修習技術者研修会の説明会で、初めて米国 FE 試験の存在を知りました。

私は、親の仕事の関係で米国のテキサス州ダラスに住んでいた、帰国子女であるため、興味深いと思いました。そんなに PE が凄いというのであれば、それも取ろうと思いました。

FE 試験の時点でも、脳を使うと思うので、いかに、脳を疲れさせず、効率よく勉強するのかを考えました。まずは、睡眠を十分に取る事と思います。次に、無理をしない事です。飽きたり疲れしたりしたらすぐにやめます。運動を取り入れると脳に酸素や栄養分が行き届くらしいと聞きました。なので、最初は 2、300mしかクロールで泳げなかったですが、今では、45 分間バタフライで泳げるようになりました。徐々に体力を回復させていく中で無理のないように勉強を続けました。基本的にモチベーションの維持方法としては、業務でロボットを作っているで、その周辺知識を身に着けたいとか、試験対策でつけた方が有効であるという事位しかありませんでした。それに受かったというのだけをもって、会社から報奨金も出ませんし、昇進もありませんし、自分自身が障害者であるのもあって、格好よくいえば、ナンバーワンよりオンリーワンですが、他の人と比較して優位に立ちたいとかも、思わないです。実は、米国 FE 試験について、今回が 4 回目の挑戦でした。3 回目で、これだけやったのに、受からないのであれば、もう永久に近い位に受からないだろうなと思っていました。

3 回目は 1/22 時点で落ちていた事が分かりましたけど、紙面版の教材を買って対策していました。JSPE で実施されていた、PE/FE 試験対策の説明会に参加したところ、何をどれだけやれば受ける系の説明を主にされていると「個人的には」感じて、もうそれはやっていると思ったので、PPI の FE Electrical and Computer Exam Navigation Bundle (FEEENAV) という有料試験対策サイトを使う事にしました。6 か月で \$479 と割安感があるのと、問題を実践形式で解きたいのと、そんなに、授業動画は、要らないのかもしれないと思ったからです。脳の関係上お盆休みは、そんなに勉強しない予定とし、7 月と 8 月は東京オリンピックの日本代表の野球試合を、ベスト 4～決勝まで、ほぼ、全部見ていました。ちなみに、日本が金メダルでした。

8/29 時点で模試を受けましたけど、結果は 45.5% でした。理由は出題の仕方は、間違えた回答をソフトが記憶して出題しているからだと思います。その後、8/30 と 9/1 に分けて NCEES 公式 Practice Exam をやってみたところ、正答率は 62% でした。

脳が働かなくなるので、コンディションや出力をよくするために、敢えて 2 週間位前から無勉強として、前日は、敢えて有給休暇を取り、基本的にいってタラタラしていました。これでダメなのであれば、いずれにしても、PE 試験対策ソフトのあるサイトに申し込んだりする必要があると思っていました。

そして、11/20 に受験して 25 日頃、合格しました。

参照: <https://www.shinya-t.tokyo/fe-hsk-prep/>